

イエスのことば

聖書フォーラム みやま集会

2020年6月13日

出典：“The Life of The Messiah vol.1” Arnord G. Fruchtenbaum, TH.M.,PH.D.

1

イエスのことば（第3回）

「人はパンだけで生きるのではない」と書いてある。

「あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えなさい」と書いてある。

「あなたの神である主を試みてはならない」と言われている。」

（ルカ4：4、8、12）

2

文脈の確認

- メシアはユダヤ人の王として来る
- 神がイエスをその王であると認めた出来事 3つ
 1. ヨハネから洗礼を受けたときに神の声が天から響いた
 2. 荒野でサタンの誘惑を受けてこれを退けた
 3. 先駆者ヨハネがイエスをメシアであると証言した
- 本日の「イエスのことば」は、2番目の出来事

3

本日のアウトライン P.1

- A) イエスの受洗と荒野での誘惑との関係
- B) 荒野での誘惑は、神が定めた課程であった
- C) 荒野での誘惑
- D) 申命記を引用した意味
- E) 3つの誘惑の意味
- F) まとめ

4

A) イエスの受洗との関係 P.2

1. イエスの受洗の6つの目的
2. 律法の義を完全に行う = メシアとしての資格
→ イエスの義は完全かどうか、テストを受ける
3. イスラエル民族との一体化、王としての認証
→ イスラエルの王にふさわしいか、テストを受ける

5

B) 神が定めた課程 P.3

1. 聖霊が主体的に関与しておられる
2. 悪魔、試みる者、サタン
3. イエスのサタンに対する態度
4. 神の目的
5. サタンの目的

6

C) 荒野での誘惑 アウトライン

1. 状況設定
2. 空腹を覚えた → 第一の誘惑
3. 国々とその栄華を見せられた → 第二の誘惑
4. 神殿の頂に立たせられた → 第三の誘惑

7

C-1 状況設定 P.4

マルコ1：12～13、ルカ4：1～2、マタイ4：1～2

- 御霊がイエスを荒野へ
- イエスは**40**日間、御霊に導かれていた
- その**40**日間、サタンの誘惑（悪魔の試み）
- イエスは、野の獣とともにいた
- 御使いたちがイエスに仕えていた
- **40**日間、何も食わず（**40**日**40**夜、断食した）
- その時が終わると、空腹を覚えた

8

C-2 第一の誘惑 P.4

- マタ4：3 「試みる者が近づいて来た」
- ルカ4：3 「あなたが、神の子なら、この石に、パンになれと言いつけなさい」
- ルカ4：4 「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」
- 申8：3の引用

9

C-3 第二の誘惑 P.4

- マタ4：8 「非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて」
- ルカ4：6～7
- ルカ4：8 「『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えなさい』と書いてある」
- 申6：13、14の引用

10

C-4 第三の誘惑 P.4

- ルカ4：9「悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、
神殿の頂に立たせて」
- ルカ4：9～11「あなたが、神の子なら、ここから飛び
降りなさい。『神は、御使いたちに命じてあなたを守
らせる』とも、・・・書いてあるからです。」
- ルカ4：4「『あなたの神である主を試みてはならな
い』と言われている」 申6：16の引用
- ルカ4：13「誘惑の手を尽くしたあとで・・・」

11

D) 申命記を引用した意味 P.5

1. 申8：2～5 荒野でのイスラエル民族

- ① 40年の間、荒野で、あなたを試み、飢えさせて
- ② イザヤ63：7～14 聖霊が共におられた

2. イエスはイスラエル民族の代表

- ① 神の子と呼ばれる
- ② 荒野で試みを受ける、40年（40日）、御霊が共に
- ③ 申命記は、神とイスラエル民族の契約そのもの

12

E) 3つの誘惑の意味 P.6

1. ヘブル4：15「すべての点で、私たちを同じように、試みに会われた」
2. 試みの3つの領域（I ヨハネ2：16）
 - ① 肉の欲
 - ② 目の欲
 - ③ 暮らし向きの自慢

13

E-3 第一の誘惑の意味 P.6

- 「石をパンに変える」
- 空腹のときに食べることは、神のみこころに適う
- しかし、イエスがメシアの力を用いて自分の食物を手に入れることは、神のみこころではない
- 第一の誘惑は、肉の欲の領域におけるテスト

14

E-3 第二の誘惑の意味 P.6

- 「国々の支配権をあげよう」
- メシアが世界の国々を支配することは、メシアが目指すゴールである
- しかし、手段を選ばずではない。十字架を通らねばならない。「サタンを拝めば」という近道は許されない
- 自分のものになるであろう力と富を目の前にして
- 第二の誘惑は、目の欲の領域におけるテスト

15

E-3 第三の誘惑の意味 P.6

- 「神殿の頂から飛び降り（て見せ）よ」
- 神の子、メシアであることの証明を迫る
- 詩篇91：11～12の約束を実験してみよ
- 人々がその光景を目撃すれば、歓呼の声でメシアとして迎えられよう。恥辱の十字架より誇らしい証明
- 第三の誘惑は、暮らし向き（人生）の自慢（プライド）の領域におけるテスト

16

F-1 3つの誘惑と神との関係 P.7

1. 「石をパンに変える」・・・神のみこころとの関係
2. 「サタンを拝むだけで」・・・神に従うかどうか、神のプロゴロムに従うかどうか
3. 「飛び降り（て見せ）よ」・・・神に拠り頼むかどうか、それも正しく拠り頼むかどうか

17

F-2 サタンの誘惑に抵抗する P.7

1. イエスは、3回とも、聖書を用いた。単に、的確な箇所を引用するだけ。
2. サタンに対して、してはならない3つのこと
 - ① サタンをののしる、なじる、馬鹿にする
 - ② サタンの名を呼ぶ → 「サタンよ、出て行け」
 - ③ サタンを縛る（私たちには、できもしないこと）

18

F-2 サタンに対する対応 3原則 P.7

1. 訴える者 → Iヨハネ1:9 気づいた罪をすみやかに神に祈って告白し、すべての罪から清めていただく = 訴える罪が無くなる
2. 試みる者 → 聖書を引用して、誘いに乗らない
聖書の学びは霊的戦いのためである
3. 敵対者 → ヘブル4:15~16、7:24~25
大胆に神の御座に近づこう、右に大祭司イエス

19